

令和元年度の災害見舞事業の貸借対照表及び正味財産増減計算書

◆ 災害見舞事業（その他会計）の損益の概要

令和元年度の事業収益(掛金収益)は、約款改定等により133.1億円となり、これに資産運用益等を加えた経常収益は141.7億円となりました。

一方、経常費用は、支払見舞金59.1億円(注1)及び責任準備金繰入額13.5億円並びにその他の事業運営費により144.6億円となりました。

以上の結果、評価損益等調整前当期経常増減額は2.8億円の減少となり、これに運用資産の時価評価損(注2)2.2億円を加えた当期経常増減額(注3)は5.0億円の減少となりました。

また、当期経常増減額に他会計振替額等を加えた当期一般正味財産増減額(注3)は9.6億円の減少となり、正味財産期末残高(注3)は39.7億円となりました。

(注1) 支払見舞金59.1億円のうち、台風15号1.0億円、台風19号12.9億円を支払いました。

(注2) 運用資産(有価証券)の評価基準及び評価方法は、期末日における市場価格等に基づく時価法によっています。

(注3) 当期経常増減額は企業会計では経常利益(損失)に、当期一般正味財産増減額は企業会計では当期純利益(損失)に、正味財産期末残高は企業会計では純資産に相当します。

貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
1. 流動資産	10,982,495	1. 流動負債	9,859,388
現金預金・有価証券	10,371,493	未経過保険料・支払備金	7,858,252
その他の流動資産	611,001	その他の流動資産	2,001,135
2. 固定資産	19,602,711	2. 固定負債	16,752,046
(1) 特定資産	19,119,994	異常危険準備金	16,595,428
異常危険準備積立資産	16,595,428	その他の固定負債	156,617
事業運営安定化積立資産	2,030,947	負債合計	26,611,434
その他の特定資産	493,617	(正味財産の部)	
(2) その他固定資産	482,717	1. 一般正味財産	3,973,773
什器備品・ソフトウェア	413,260	(うち特定資産への充当額)	(2,367,947)
その他の固定資産	69,457	正味財産合計	3,973,773
資産合計	30,585,207	負債及び正味財産合計	30,585,207

(注) 単位未満の端数整理のため、内訳の集計額と合計額が一致しないことがあります。

正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
I 一般正味財産増減の部		評価損益等	△ 220,280
1. 経常増減の部		① 特定資産評価損益等	△ 220,280
(1) 経常収益	14,175,062	当期経常増減額	△ 509,397
① 特定資産運用益	135,281		
② 事業収益	13,316,946	2. 経常外増減の部	
③ 支払備金戻入益	652,020	(1) 経常外収益	0
④ その他の経常収益	70,814	(2) 経常外費用	258
(2) 経常費用		当期経常外増減額	△ 258
① 事業費	14,464,179	他会計振替額	△ 458,537
支払見舞金	5,914,644	税引前当期一般正味財産増減額	△ 968,193
再保険料	512,354	法人税、住民税及び事業税	858
募金事務費・代理店運営費	3,768,708	当期一般正味財産増減額	△ 969,052
責任準備金繰入額	1,351,635	一般正味財産期首残高	4,942,825
その他の直接事業費	729,462	一般正味財産期末残高	3,973,773
人件費	750,960		
物件費	1,436,412	II 指定正味財産増減の部	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 289,116	当期指定正味財産増減額	0
		指定正味財産期末残高	0
		III 正味財産期末残高	3,973,773

(注) 単位未満の端数整理のため、内訳の集計額と合計額が一致しないことがあります。